

研究名

レボドパ製剤内服患者における注射薬へ切り替え時の投与量に関する実態調査

1. 研究の対象

2023年4月1日から2024年4月30日までの期間で当院にてレボドパ注射液が処方された患者を対象とした。

2. 研究目的・方法

レボドパ製剤を内服している患者は周術期や経口摂取が困難になった際、パーキンソニズムの悪化や悪性症候群の発症を回避するため、注射薬への切り替えが行われる。パーキンソン病診療ガイドライン2018において、切り替え時の推奨換算量は内服薬用量100mgにつき注射薬用量50mg～100mg程度とされているが、正確な換算用量に関する明確な報告はない。そこで今回、当院にてレボドパ製剤を内服から注射薬へ切り替えた際の投与量について探るべく実態調査を行った。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報(後向き研究)

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 張 友樹

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111（内線255）

担当者：薬剤部 張 友樹

薬剤部 佐々木 美理

薬剤部 加藤 一郎